

きれいな空気よいい水を求めて

かんきょう 会報

Vol.12



photo : 「明野のひまわり(山梨県北杜市)」スター精密㈱ 小山勝己

平成 22 年度
通常総会開催
新会長就任の挨拶 …1
平成 22 年度環境保全功労者の表彰 …2
講演会 “蝶と環境指標” …2

環境の日
大浜海岸で清掃奉仕活動 …3

環境学習 会員親子見学研修会
サッポロビール(株) 静岡工場
はごろもフーズ(株) 焼津工場 …4

かんきょうにゆーす …5



この会報誌は古紙配合率 100%、
白色度 70%の再生紙を使用してい
ます。

平成22年度
通常総会

静 岡 市 環 境 保 全 推 進 協 力 会

平成22年度 通常総会 開催

時：5月25日(火) 於：グランディエールブクトーカイ4階「ワルツ」

平成22年度通常総会は、小石原会長が所用で出席できなかった為、佐塚副会長からご挨拶を頂き、来賓の静岡市環境創造部長の杉山浩敏氏のご祝辞の後、東海大学名誉教授の岡部史郎氏を紹介させて頂きました。

そして、平成22年度環境保全功労者表彰式の後、下記の5つの提出議案のすべてが原案通り承認、可決され、佐塚副会長が会長に就任されました。

- 報告第1号議案 平成21年度事業報告
- 報告第2号議案 平成21年度収入・支出決算
- 審議第1号議案 役員を選任(案)について
- 審議第2号議案 平成22年度事業計画(案)
- 審議第3号議案 平成22年度収入・支出予算(案)



講演会終了後、意見交換会が同じ階の「プレリユード」で行われ、講師の高橋先生も参加され、会員同士が談笑し合う姿を見ることができました。

新会長就任の挨拶

静岡ガス(株) 静岡支社



支社長
佐塚一仁

今年度から、当会の会長に就任いたしました静岡ガス(株)静岡支社の佐塚でございます。この場を借りて一言ご挨拶をさせていただきます。

環境問題につきましては、京都議定書、洞爺湖サミット、そして昨年の政権交代による2020年温暖化ガス1990年比25%削減と、地球温暖化対策のための提言・目標が次々と掲げられています。そんな中、これからの環境問題は地球温暖化対策の推進を図るため、低炭素型社会の実現に向けた取り組みや、新エネルギーに対する取り組みの重要性が益々高まりつつあります。低炭素社会の実現には、国や自治体だけでなく産業界の取り組みが必要不可欠です。このような大きな変革期において、市民や企業の行動を通じて社会全体の仕組みを変えることが求められています。企業人である前に個人として、真摯に地球温暖化問題に目を向けた取り組みは欠かせません。一人一人の意識を変え、人と組織を繋ぐ身近な1歩を踏み出すことが求められていると思います。

当会におかれましては、今までの経験を生かした環境保全活動を継続的に推進し、企業の発展を図りながら今後とも、役員・運営委員一同、会の発展に精励する所存でございますので、会員の皆様の積極的な事業へのご参加、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

通常総会

平成22年度 環境保全功労者の表彰

平成22年度
環境保全功労者の表彰

左から、望月光明様
会長 佐塚一仁様、土屋 毅様

【個人表彰】 環境フロンティア㈱ 水質分析リーダー 土屋 毅様

この度は、皆様のお力添えにより環境保全功労者の表彰を頂き、誠にありがとうございます。
弊社の事業内容である環境調査・分析に携わり、11年が経ちました。当協会の活動で最も印象深いのは、入社当時初めて参加した真崎海岸の清掃です。参加者全員で少しずつ拾い集めたものが山になってゆく様を見て、環境の保全は皆で協力しなければ成し得ないことを体感できました。
微力ではありますが、業務を通して各事業所様の環境保全にお役に立てるよう努めてまいります。

【事業所表彰】 山梨罐詰㈱ 研究開発部 望月光明様

環境保全功労者表彰 事業者表彰をいただきましてありがとうございました。
弊社は静岡市清水区にある、食品を製造する会社です。
缶詰工場も昭和30年代には、清水区にも多くの缶詰工場がありましたが、時代の要望にこたえられず、少なくなり、現在は弊社を含め数社になりました。
現在、流通されている食品は、農薬の有無・原料内異物の有無、賞味期限、すべてを証明し、安心を付加させながら、安価に食品を製造することが、時代として要求されております。時代が必要とされているものを作る能力がある会社は生き残れますが、できない会社は淘汰されていきます。
時代は、安全・安心な食品を作ることを要請すると共に、作る企業に対して、地球環境の保全についても要求されています。
弊社は、5年越しのプロジェクト（バイオマスプラントの実証）を昨年度より実施し、排水処理に回した廃シロップを発電させ、排水の負荷を低減させるプロジェクトを実施いたしました。また、その一環として、排水処理設備の改善を行いました（沈殿槽の増設）。
今後も、山梨罐詰㈱は、安全安心な食品を作るとともに、時代の要請のある環境保全の発信者として、地域に貢献していきたいと思っております。

講演会

〔演題〕 蝶と環境指標 〔講師〕 日本鱗翅学会 高橋真弓氏

環境問題がクローズアップされているなか、環境の変化と蝶の分布の関係について日本鱗翅学会 高橋真弓氏より「蝶と環境指標」と題した講演をいただきました。

日本鱗翅学会についてご紹介いたしますと、鱗翅（りんし）というのは鱗粉のある翅を持った昆虫すなわちチョウやガの仲間のことです。チョウ目ともよばれるこの小さな生き物の素晴らしい魅力にひきつけられた方が組織している学術団体でアマチュアから専門家まで幅広い層のメンバーが協力しながら活動しております。

高橋氏は幼少の頃から生物に興味を持ち、生物の中でも蝶の美しさ、種類の多さ、採取した蝶の名前が分かるという蝶の魅力に取り付かれ、蝶の研究を続けていらっしやるということでした。



今回の講演では、環境の変化と蝶分布の関係についてご講演をいただきました。

蝶は生息地によって種類が分けられかつ、食

べる植物が蝶により決まっているため、周囲の環境が変わり、生息する植物の種類が変化すると蝶の生息状況が変化するという点を利用すると、蝶の生息が環境指標となるというお話がありました。

日本には250種類の蝶が生息しておりこのうち50パーセントを超える140種類の蝶が静岡県に生息しているため、環境指標に蝶を用いることは効果的であるとお話がありました。

このように蝶の生息を使い、地域の環境を評価することは、環境アセスメントの判断材料としても有効であるとお話がありました。

その後、日本国内に生息する蝶ならびに世界の様々な地域に生息する蝶についてご説明をいただきました。

皆様の地域におきましても、普段見たことがない蝶が生息しているとか、例年と異なる時期に飛んでいる蝶を見かけましたら、その地域の環境が変わってきていると考えていただきたいと思っております。

環境の変化は、生物の生態系についても大きな影響をもたらします。いつまでも、蝶だけではなくすべての生物が生息できる環境を維持できるよう環境対策に取り組んでいかなくてはならないと考え再認識させていただいた講演でした。

静岡鉄道㈱ 北 武忠

大浜海岸で 清掃奉仕活動

エムシー工業(株)
佐藤 隆



確実に進んでいる環境意識

6月5日(土曜日)静岡市環境保全推進協力会による恒例の「海岸清掃活動」を行いました。これまで清水区の大浜海岸で奉仕活動を行っていましたが「市内全域へ活動の輪を広げたい」と今年は大浜海岸に場所を移しました。奉仕活動は、海岸を少しでもきれいにすること、そして環境の大切さをあらためて考えることを目的にしたものです。

当日は晴天でクリーンアップ日和となり協力会加盟の事業所57社の従業員と家族約675名が参加し約1キロを30分かけてゴミを拾い集めました。

大浜ビーチを中心に活動しているサークル代表者の方と話す機会があり、清掃活動をする団体が増え海岸の美化は進んでいます。我々も時々ゴミ拾いを実施していますが、これだけの人数が集まる団体はあまり見かけません。「感謝の気持ちで一杯です」と話してくれました。

私も久々の大浜海岸訪問でしたが、発砲スチロール、ペットボトル等のゴミの散乱はなく居心地の良い美しい海岸であったので驚きました！

環境意識は確実に進んでいることを実感しました。昨年の三保海岸に較べると参加人数は350名程減少しましたが、マイクロバスでの参加の会員会社もあり、会社の恒例行事として定着している様子を見て安心しました。活動範囲を広げ展開できたことについては目的を達成できたと評価できると思います。

大浜海岸は多くの企業・団体が奉仕活動を行う場所であるため、ゴミの量は前回の三保海岸での回収ゴミの半分



程で、ゴミも不法投棄されたものは殆ど無く、川を通じて流れつくゴミがほとんどを占めていました。

美しい海岸を保つためには、私たちの日常生活や一人ひとりが“ゴミを捨てない、捨てさせない”“心がけ”と“監視の目”をひからせ地域の環境に対して関心をもって行動することが重要であると感じました。

今後も地域社会とともに生きる「良き企業市民」として積極的に環境保全推進協力会の社会貢献活動に取り組んでいきたいと思いました。



会員親子見学研修会

- ①サッポロビール(株) 静岡工場
- ②はごろもフーズ(株) 焼津工場

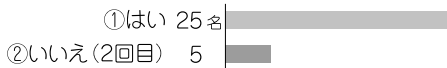
平成22年8月10日(火曜日)

昨年度から実施している、会員親子見学研修会が8月10日(火)に開催され、22組56名の参加で行われた。(随行2名を入れて58名)

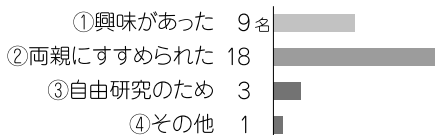
台風の影響で雨に降られることが心配だったが、天候にも恵まれ無事実施できたことが何よりだった。午前中はサッポロビール(株)静岡工場を見学し、ビールができるまでのビデオを見ながら説明を受け、ピオトープ内にある蓮が咲いている場所では、樹木も多く自然の風が心地よく木陰の涼しい空間に外の暑さをしばし忘れるくらいだった。その後、施設内で待ちに待った試飲をさせて頂き、おいしいビールにのどをならした保護者の方も多々いたと思う。工場内で飲むビールは出荷されたビールよりも数段うまさ違うとのことだ。午後は、はごろもフーズ(株)焼津工場、シーチキンができるまでの作業を見学させて頂き、機械にかけるまでは手作業に関わる人の数が多いのに驚かされた。質疑応答では、参加された子供たちから積極的な意見が次から次へと多く出て、疑問に思うことや興味が尽きることがないほどだった。

今回参加した30名の子供たちに、下記の通りアンケートを取らせて頂いた。

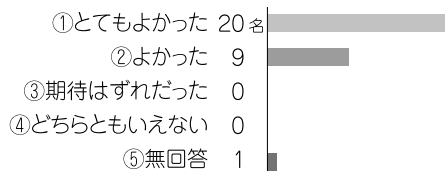
今回の見学研修会は初めての参加ですか？



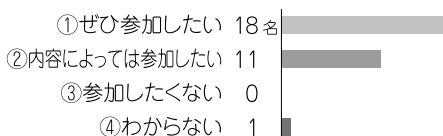
今回の見学研修会に参加した理由は何ですか？(複数回答)



今回の見学研修会はいかがでしたか？



来年もこのような見学研修会に参加したいですか？



次回参加するとしたらどんな会社に行ってみたいですか？

- ・お菓子工場(15名)・明治製菓(株)(5名)・(株)バンダイ(3名)・(株)タカラトミー(2名)・任天堂(株)(2名)・インスタントラーメン会社・プラモデル会社・自動車(部品)工場・面白いことをしている会社・テレビ局・アイスクリーム工場・ゴミ焼却炉・機械の会社・食品会社(カップ麺)・化粧品会社・(株)ロッテ

みなさんの感想

●サッポロビール(株) 静岡工場での感想

- ・麦芽が甘くてびっくりした。・ホップは臭いのは何でビールの材料に使うのかなと思った。・色んなことが分かって面白かった。・お母さんがビールがおいしいと言っていた。・ビール以外にも色々作っていた。・20人でビールを寝かせてある大きなタンクを空にするには、1人3本ずつ25年もかかるということがびっくりした。・先日北海道のサッポロビール館を見学したばかりだったが、地元静岡にこんなビール工場があった事に驚いた。・ビールが完成するまでどのような事があって飲めるのかなと思っていたけど、よく分かって楽しかった。・ビールの作り方に色んな工夫があるんだなあと思った。・自然がとてもよかった。・ピオトープがあると知った。・分かりやすい説明だった。・7千年位前からあるとは知ってたけど、改めてビールが古くからあると知った。・20才になってから飲むのが楽しめた。・雨を利用してハスが昆虫を育てていたのがすごかった。

●はごろもフーズ(株) 焼津工場での感想

- ・手作業をしている人達がとても上手に魚を削っていた所がすごかった。・缶詰の種類が多かった。・びんながまぐろはシーチキンファンシー、きはだまぐろはシーチキンしができる。・缶に入れる所が速かった。・工場の中がすごくきれいだった。・シーチキンは缶詰だと長持ちするのでびっくりした。・知らないことも色々聞いて勉強になった。・私はシーチキンが好きだから色々教えてもらえてうれしい。・シーチキンができる所までよくわかった。・20kgのまぐろでシーチキンが100缶位できるということがびっくりした。・ますますシーチキンが好きになった。・手作業がだいたいだったのでびっくりした。・とても説明がわかりやすかった。

清水区三保クロマツ植樹地

下草刈りの実施

【第1回】6月26日(土) 【第2回】7月24日(土) 【第3回】10月23日(土)

今年2月清水区三保にある県有地に抵抗性マツを植樹した後、初めての下草刈りを6月26日(土)に実施した。梅雨時でもあり朝には雨が降っていたが、80名の参加者が雨具を着ながら蒸し暑い中1時間ほど雨と汗にまみれて作業を行った。作業を開始する頃には雨も小降りになり次第に上がり始めたので、俄然動作にも力が入り瞬間に無造作に生えていた雑草がきれいになった。目印となる杭が草に覆われて探すのに手間取ったが、目星をつけた辺りを数人で刈り取り、杭も陽の目をみる事ができた。

2度目の下草刈りは、7月24日(土)に52名で実施した。1度目の下草刈りと違って変わり朝から強い日差しに照らされながら、吹き出る汗を拭いつつ作業を行った。熱中症を心配したが何事もなく行うことができた。植樹したマツの周りの草は1ヶ月位だと思ったほど生えないが、土手沿いの雑草は伸び盛りの子供のように生長が早かった。

3度目は8月28日(土)、4度目は9月25日(土)に予定していたが、静岡県中部農林事務所治山課が、7月中旬に業者に委託して作業を実施し、9月下旬には森林整備課が作業を行うので、10月23日(土)に実施する運びとなっている。

下草刈りに50名は集まってほしいという願いだったが、予想人数を超えた参加者に会員の皆様の環境保全に懸ける熱い思いを感じた。



かんきょうにゅーす

Kankyou News

事務局からのお知らせ

平成22年度事業報告・事業計画

平成22年度の事業報告とこれからの事業計画をお知らせします。

理事会(5月25日)【16名出席】

- ①平成22年度環境保全功労者の表彰について
- ②平成21年度事業報告
- ③平成21年度収入・支出決算
- ④役員改選(案)
- ⑤平成22年度事業計画(案)
- ⑥平成22年度収入・支出予算(案)

通常総会(5月25日)【79名出席】

- ①平成22年度環境保全功労者の表彰について
- ②平成21年度事業報告
- ③平成21年度収入・支出決算
- ④役員改選(案)
- ⑤平成22年度事業計画(案)
- ⑥平成22年度収入・支出予算(案)
- ⑦講演会『蝶と環境指標』
日本鱗翅学会 高橋真弓氏
- ⑧意見交換会(44名出席)

環境月間(6月1日～6月30日)

- ①公害防止施設の点検整備の実施
- ②事業所内外の清掃美化の実施
- ③「環境の日及び環境月間行事実施要領」を参照の上、積極的な行事への参加。

清掃奉仕活動(6月5日)【57社・675名参加】

環境基本法第10条の主旨に基づき地域環境美化活動に参加する。
大浜海岸(駿河区)の清掃奉仕活動

植林活動(各月1回下草刈り)

第1回 6月26日(土) 第2回 7月24日(土)
第3回 10月23日(土)

「模型の世界首都 静岡ホビーフェア」への協力について (7月24日～3月27日)

静岡市主催に協力

会員親子見学研修会(8月10日)【58名参加】

- ①サッポロビール(株) 静岡工場
- ②はごろもフーズ(株) 焼津工場

興津川クリーン作戦(9月4日)【559名参加】

興津川保全市民会議・静岡市共催に協力

優良施設見学研修会(11月)

事例発表会(1月)

会員による環境問題の取り組み事例発表会

環境セミナー(2月)

会報発行(9月・3月)

会報「かんきょう」Vol.12号・13号を発行

啓発活動(随時)

- ①クールビズ・ウォームビズ励行への協力
- ②会員増加の啓発活動

情報提供(随時)

【平成22年9月30日現在会員数】 178事業所

随時会員を募集しております。
詳細は事務局までお問い合わせください。

【発行】 静岡市環境保全推進協力会
【事務局】 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡庁舎 環境局 環境創造部 環境保全課内
TEL054-221-9373 FAX054-221-1186
ホームページURL <http://www.shizuoka-kankyosuishin.jp/>